

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「やさしい心 迷ったり探さぬよう そばにいるよ!!」を理念にかかげ、生活歴やその人らしい暮らし、不安になられないような居場所づくりを大切にしている		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	1の理念を常に確認しながら、日々の業務で活かしていくような努力をしている		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	事業所だよりや月ごとのおたよりなど、折にふれ、理念にふれるようにしている		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の付き合いやひごころから挨拶をすることを重ん、顔の見える関係の中で、気軽に声をかけてもらったり、事業所に来てもらえるような雰囲気作りをしている		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の会合や行事に積極的に参加している。また、事業所を見学して頂いたり、事業所だよりを町内会に配付するなどして、理解をえられるよう努力している		

グループホーム 土橋のおうち

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	介護相談や技術指導などに応じている		認知症、介護、介護保険、障害についてなど、積極的に地域の方に学びの場が提供していけるようにしたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を活かして、常に成長していけるよう、自己反省や意見交換などに努めている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の人からの意見・評価や支援助力も活用しながら、会議の内容をより充実したものにしている		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	各種報告書や提出書類を持参したり、質問や確認事項を問い合わせるなどして、顔のみえる関係づくりにつとめている		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修に参加して理解を深め、職員会議等で報告したり話し合ったりして、各スタッフも理解し、サービスを利用している人への理解やよりサービスが活かせるような支援ができるように努めている		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加して理解を深め、職員会議等で報告したり話し合ったりして、各スタッフも理解し、心を一つにして、虐待が行われないよう防止に努めている。		

グループホーム 土橋のおうち

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ご家族も高齢であったり、理解が難しい方もいらっしゃるの で、なるべく大きな目で書類を作成したり、わかりやすくゆっ くり説明し、質疑応答をうけるなどの努力をしている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>認知症があるため、なかなか自分の思いを言葉で表す事が むづかしくなっているが、常に言葉や言葉にならない想 いをくみとれるように、努力をしている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>最低でも月に1回は、毎日の様子や行事等の報告を家族へ 送っている。 また、時事の報告もインターネットを通じて閲覧できるようにし ている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃から、家族との連絡を密にとることにより、苦情等もいっ てもらいやすいような雰囲気作りにつとめている。 また、外部者への連絡についても、書類に相談先を記入す るなどして紹介している</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営者・管理者は常勤で同じ建物に努めているため、日々、 気軽に意見や提案をきけるような雰囲気づくりを行っている。 年齢・経験を問わず、良い提案はみんなで取り組んでいって いる。 また月に一度全体会議を開き、意見・提案等を協議している</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者や家族の状況を考慮し、臨機応変に勤務できるよ うな対応をしている</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の定着率は高く、馴染みの関係が崩れにくくなっている。 また、職員が変わる場合においても、新旧の両職員が同時 に勤務したりして、入所者との関係や職員間の連携が崩れる 事のないようにつとめている</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員に常に情報や研修内容を知らせ、参加を促すとともに、その報告を会議で行い、皆で共有している		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者と定期的な交流ネットワークをたちあげており、情報交換や勉強会を実施している。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常的には、体調や顔色を見ての声かけや相談に応じている。 また理事長とやりとりができる個人の日報があり、様々なことが相談できる体制を整えている		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	月に1回の全体会議にて個々の業務や研修、活動等を報告し、情報を共有するとともに、切磋琢磨できるような場を設けている。また、自己評価も年1回行い、向上できるような取り組みを行っている		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	認知症があるため、なかなか自分の思いを言葉で表す事が難しい方もいらっしゃるなかで、常に言葉や言葉にならない想いをくみとれるように努め、本人を含め、周囲の環境をよく検討し、聴く機会を設け、努力して対応している		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	傾聴することを心がけ、心の訴えが何であるか、想いをくみ取れる様に努めている		

グループホーム 土橋のおうち

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面会の度に「何か不安・相談はありませんか」と声かけをして、急を要する案件がないか、本当の相談は何かなどに想いはせながら、対応をしている。 ご本人にとって何がよいのかを判断し、他の事業所やサービスの紹介したりもしている		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	当法人は、小規模他機能的な事業運営をしており、グループホームに入る前に、在宅時にはデイサービスや訪問介護等を利用していただいたり、認知症デイの利用でグループホーム内で日中過ごしていただくなどして、徐々に人や場所に慣れていけるように努めている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ケアはプロの知識と技術で、心は家族の思いで、毎日の暮らしを共にしている。食事作りの他、日常生活を行ううえでの仕事等と一緒にし、出来ないことを他の利用者から学んだり支えあって生活している		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ケアはプロの知識と技術で、心は家族の思いで、毎日の暮らしを共にしている。年間行事、個々人の行事、お祝い事等も大切にし、時にはオリンピックや野球、ふらわーフェスティバル等もテレビ観賞し、一緒に時と楽しくすごしている		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	個々の背景を知り、家族関係も個々で違うことを理解して日々関わり、家族と職員の関係、あるいは家族と利用者の関係がより良い状態で維持できるよう努力している		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の意志や希望を大切に、馴染みの物を部屋に置いている。 馴染みの人との関係は、特に制約なく自由に交流できるよう支援している		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係がスムーズにいくように、また、支えあいができるように座る位置を考えたりしている。皆で話しをしたり、歌と一緒に唄ったりすることが多く、楽しみを共有することで、お互いの気持ちが少しでも繋がるようにしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	常に利用者や家族とは、未永い関係を大切にしている		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの希望を大切にしている。意思の表出が困難な利用者も、家族の意見や本人の生活史を参考にし、出来るだけ本人が良い思いで暮らせるように意識して関わっている		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者のバックグラウンドを重視し、個人の理解へ努めている		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の状態を常にITにより管理・情報の共有を行っている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人からの意志をくみ取りにくい場合は、毎月のモニタリング会議により、意見交換・反省等を行い、話し合ったことは家族に伝えている。 家族にはありのままの情報を提供し、家族からの意見や情報を頂きケアに生かせるように考えている		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のモニタリング会議により、ケアの見直し等を定期的に行うと共に、緊急時のケアの見直しも臨機応変に行っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別で日々の記録を残し、スタッフが毎日チェックを行っている。毎日情報をITにより共有し、常に個別ケアを図っている。本人の様子と介護状況がわかるようデータを入力している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	当法人は、小規模他機能的な事業運営をしており、デイサービスや訪問介護、認知症デイの利用からグループホームへの入所を検討いただいたり、入所時の逆デイサービスの利用や、個別の手助けを有償サービスで対応していくなど、多彩な支援を行っている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員、町内会等の協力を得たり、消防や警察等とも密接な関係を保つとともに、ボランティアの受け入れも積極的に行っている。権利擁護事業の利用者もいる		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人にとっても大切なことは何かを常に考え、本人の意思を尊重し、受けたいサービス利用の支援を行っている		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	常に協議し合い必要性を提供している。運営推進会議には必ず出席して下さるので、地域の情報や意見等を頂いている		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間連絡のつくかかりつけ医師をもち、支えてもらい家族にも安心感をもって頂いている		

グループホーム 土橋のおうち

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	電話での相談、往診などを行ってもらえる医師とつながりをもっている		入所者の高齢化・重度化が進むと、今後入退院を繰り返される方も増えてくる可能性が高いので、より密に連携が取れるようDr・訪問看護等との連携を密にしていきたい
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	とても地域医療に理解あるので、職員も安心して日々の支援に取り組める 担当の医師をもち、月に1回の内科受信、週に1回の歯科往診等、常に相談ができ、緊急時にも支援頂いている		とても地域医療に理解あるので、職員も安心して日々の支援に取り組める 担当の医師をもち、月に1回の内科受信、週に1回の歯科往診等、常に相談ができ、緊急時にも支援頂いている
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、ご家族をはじめ、入院先の機関との連携につとめている		退院前に、病院関係者、主治医、訪問看護、ケアマネ等で退院にむけての協議の場をもつようにする
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師、訪問看護等との協議を密にし、職員もその内容を理解することでターミナル期へ向かったの意志確認をおりにふれ行っている		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入所者の高齢化・重度化が進み、今後ターミナルケアへの取り組みが望まれるところである。 医師、訪問看護等との連携を今以上に密にし、体制整備に努めていきたい		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	これまでにこのようなケースはない		今後このようなケースがあった場合でも、混乱のないような支援ができるよう、関係者の連携をみつてにしておきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>親しい仲にも礼儀あり の実践 記録はイニシャルで行い守秘努力をしている</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>意思確認できる人には自己決定して頂いている。意思疎通が難しい方にも、できるだけ納得していただけるように努力している</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個別のタイムスケジュールをくみ、各人のペースを重んじている</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>2ヶ月に1回、訪問美容院を利用している。 身だしなみは、常にスタッフが気を配っており、特に朝は、服装や髪型等を整えたりの支援を行っている</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>常に一緒に食事作りや片づけを行い、食事のみならず、日常生活の中の営みとして楽しみながら行っている。食事内容については、スタッフが常に栄養、食べやすさ、好み、彩り等考えて切磋琢磨しているので、利用者からも毎日喜ばれている</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>日常的に楽しめるように要求を支援している</p>	

グループホーム 土橋のおうち

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	オムツはずしを実践できるように、記録をつけ、時間ごとにトイレ誘導を行ない、いつも気持ちよく生活できるよう排泄の支援をしている		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	個別の要望を優先させながら、最低でも2日に1回は、体調を見ながら入浴を楽しんで頂いている。当グループホームのお風呂は一人用の風呂なので、状況をみながらスタッフが入浴介助を行い、プライバシーの確保にも努めながらゆったりと入浴を楽しんでいただいている		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	体調に留意しながら、支援している。特に高齢の利用者には、昼間の休息を短時間とって頂くことで、その後の体調が安定している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	生活歴や個人の楽しみ(書くこと、描くこと、歌をうたうこと、調理、子ども(人形)のお世話)などを重んじ、各人がしたいことができるよう、また、役割をもつことで存在価値をもっていたけよう支援している。		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	共に買い物に行き楽しんでいる		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	その日の体調等を考慮しながら、買い物や散歩等の外出支援を行っている。その他の外出についても、希望によりいつでも支援している 以前は、小旅行なども行っていた		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	最近、季節を楽しめるように近郊へのドライブ等を行っている。また、家族が望めば、いつでもどこでもいける体制がある		

グループホーム 土橋のおうち

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	代筆や電話の取次ぎ等、自由に出来るよう支援している		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に来て頂いている		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について学ぶと共に、もしそれに近いことがあれば、スタッフ全員で理解するまで協議を行っている		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束は一切しておらず、自由である。 日中はいつも全開です(9:30～16:00)		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフの声かけによる安全確認を行っている。日中、夜間共に利用者の所在確認や安全確認には特に気を付けている		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の持ち物に配慮し、誤飲等につながる物は排除し、スタッフが日々確認を行っている		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止について学びの機会を設けると共に、何かあった場合は、ヒヤリハットをつけ、スタッフが協議し事故防止に努めている		

グループホーム 土橋のおうち

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急蘇生法などの研修を受けている		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時の対応については、体制作りをし、もしもの時に備えている 消防訓練・非難訓練等を年に2～3回行っており、地域の支援、消防の協力を得、常に連携をとっている		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族が納得できるまで個々人のリスクについてわかりやすく説明し、理解を得るように努めている。また、スタッフで協議しながら、なるべくリスクを少なくする方法を考えている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々の体調の記録をつけ、スタッフが共有し、有事に速やかに対処している。 毎朝、体調チェックをし申し送りで情報を共有し、継続して支援できるようにしている		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診後や薬の変更があった時は特に、薬の目的や服用法等を申し送りし、スタッフが共有して、その後の健康管理に対処できるようにしている		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個々の便秘の原因を検討すると共に、館内の階段を使った運動や適度の散歩等をうながしたり、腹部マッサージを実施したりしている。 食事内容及び水分補給等は常に意識的に支援している		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔内の洗浄やうがい、歯磨き、義歯の洗浄等、個々の口腔内の状況に合わせて必ず実施している。また、週1回、訪問歯科医による、口腔内チェック等を全員行っている		

グループホーム 土橋のおうち

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養の調整、バランス等は、スタッフが個々に支援するとともに、入所者全てに記録をつけ情報を共有している		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	取り決めがある(インフルエンザの予防接種、調理者の衛生管理、手洗い・うがいの徹底、毎日の掃除の徹底等)		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は、毎日新鮮な物を使い、残った物は日付をつけ、早めに使い切るようにしている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	清潔を保ち、地域とのバランスも考え、緑を絶やさぬように、また、季節の花を植えて親しみやすい雰囲気を作っている		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間や廊下には、写真や書き物、季節の行事に係るもの等を飾っている		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング・ダイニングの席の配置等を工夫し、気ままに過ごせるような工夫をしている		

グループホーム 土橋のおうち

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や家にあった物等を飾り、自室でそれを見ながら話をしたりして利用者と過ごしている		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	季節に応じて、温度、湿度調整している。調理時の換気及び、窓を開けてのリビング・居室の換気を行っている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーではないので、車イス使用は特別な状況の時だけになる。利用者は出来る限り自力での歩行(介助)で生活しており、寝たきりの人はおらず、できるだけ自立への促しを行っている		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	生活環境はなるべく変化させないこと。風呂やトイレ等はわかりやすいよう張り紙を貼っている		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	朝の天気に応じて、一階のアウトドアで歌を謡ったり、話をしたりして楽しんで頂いたりしている。天気の良い日は、屋上へ上がり、洗濯物干しを一緒にしたり、日向ぼっこをしている		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある(短時間ながら)	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 土橋のおうち

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、活き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な雰囲気の中で、それぞれの生活歴や日常生活、楽しみや喜ばれたこと等を大切することを心がけて、暮らしていただいています。元旅館だった建物の2・3階部分をグループホームとして利用していますので、お部屋の大きさは多様です。お風呂は一人用の小さなお風呂です。食事はスタッフと利用者さんと毎日作ります。リビングでは、洗濯物をたたんだり、テレビをみたり、歌をうたったり、それぞれが普段の暮らしを楽しまれています。年々利用者のみなさまは、高齢・重度化されています。ご希望の方には、当グループホームで最期まで過ごしていただけるよう、ターミナルケアについて学び、体制を整えています。

平成14年より、日赤看護大学広島支部との共同研究で、介護記録や入所者の喜ばれたことをデータ化し、ご家族に日々の様子をインターネットを通して提供したり、

月ごとのまとめを紙に打ち出し提供しています。